

報道関係者各位

2020年9月30日（水）
株式会社明電舎

デマンド抑制・BCP対策など電力の安定供給に寄与 日立オートモティブシステムズ向け NAS 電池用パワーコンディショナーを納入しました

株式会社明電舎（取締役社長：三井田 健 / 東京都品川区、以下明電舎）は、日立オートモティブシステムズ株式会社（プレジデント&CEO ブリス・コッホ / 東京都千代田区、以下日立オートモティブシステムズ）佐和工場（茨城県ひたちなか市）に NAS 電池用パワーコンディショナー（以下 PCS）を納入し、2020年7月に運用を開始しました。本製品の納入により、事業所内の常時の負荷平準化や夏場の電力ピーク時のデマンド抑制、BCP対策としての停電時の電力供給などが可能となります。

本案件は、東京電力エナジーパートナー株式会社（代表取締役社長：秋本 展秀）の100%出資子会社である日本ファシリティ・ソリューション株式会社（代表取締役社長：田中 康史）を通じて受注したものです。今回、日立オートモティブシステムズ 佐和工場では工場の安定的な稼働のために NAS 電池用 PCS 3,600kVA を1台納入しました。接続する NAS 電池は日本ガイシ株式会社（代表取締役社長：大島 卓 / 愛知県名古屋市）製です。

【NAS 電池用 PCS の導入効果】

■ 常時の負荷平準化

電力消費の少ない夜間などに NAS 電池に充電した電力を電力消費が大きい時間帯に放電することで、契約電力を抑えることができます。

■ 夏場の電力ピーク時のデマンド抑制

電力の需給が逼迫する夏場や冬の寒波の際に、電力需要の予測をもとに電力会社等から行われる節電要請を受け、指定時間帯に節電をすることで、抑制した分の電力量に対し報酬を受け取ることが可能となります。今回納入した NAS 電池用 PCS は節電要請の際に NAS 電池への充電・放電を行うものです。

■ BCP 対策としての停電時の電力供給

災害や落雷などで電力系統に事故が起こり停電が発生すると、生産ラインの緊急停止が発生し、製品品質に影響を与え、莫大な損害を引き起こす可能性があります。そこで NAS 電池用 PCS を導入することで、万が一系統事故による停電が発生しても、NAS 電池用 PCS が電力系統から自立して電力供給を開始することができるため、事故系統が復旧するまでの間、一部重要設備を再始動することが可能となります。

明電舎の蓄電池用 PCS は1996年の発売開始より現在まで100サイト以上、累計容量200MVAの納入実績があります。今後も高まる電力需給逼迫時のデマンド抑制や気候変動に起因する災害の多発によるBCP対策強化などのニーズに応えるべく、納入サイト数増加を目指してまいります。

■明電舎の蓄電池用 PCS 仕様一覧

機能/仕様	小容量タイプ(低圧)	大容量タイプ(高圧)
定格容量(単機)	250kVA	600kVA/1200kVA
最大並列数 (自立運転時)	8 (最大2MVA)	8 (最大9.6MVA)
定格電圧(AC)	420/440V	6600V
電圧範囲(DC)	240~600V	480~780V
効率(定格時)	95%以上	96.0%以上
設置仕様	屋内/屋外 (屋外はパッケージ収納)	屋内/屋外 (屋外はパッケージ収納)
組合せ可能電池	NAS(コンテナ型)・LIB・鉛 レドックスフロー・リチウムイオンキャパシタ	NAS・LIB・鉛・レドックスフロー リチウムイオンキャパシタ
有効電力出力機能	○(充電/放電とも定格比100%)	
無効電力出力機能	○(遅れ:定格比100%/進み:定格比60%程度まで)	
非発連系機能	○	○
自立運転機能	○	○
系統安定化機能	○ 負荷変動緩和機能 自端周波数調整機能	○ 負荷変動緩和機能 自端周波数調整機能

注:NAS は日本ガイシ(株)及び東京電力ホールディングス(株)の、NAS 電池は東京電力ホールディングス(株)の、登録商標又は商品名です。



日立オートモティブシステムズ 佐和工場納入明電舎製 PCS

■明電舎蓄電池用 PCS WEB サイト

https://www.meidensha.co.jp/products/energy/prod_11/index.html